

健康百科

子どもの目の発達

赤ちゃんは、出生後にさまざまな刺激を受け、徐々に視力を獲得していきます。今回は、子どもの目の発達についてお伝えします。

見る力を獲得していく仕組み

生まれたばかりの赤ちゃんは、明かりがぼんやりと分かる程度でほとんど見えていません。これは、光を感じる視細胞がまだ少なく、見た情報を認識する脳の機能も未熟なためです。視細胞は成長とともに増え、何度も繰り返して物や景色などを見ることで、見た情報を認識する力が高まります。その結果、視力は1歳で0.2くらい、3歳で0.6～0.9、5歳ごろまでには1.0以上となり、物をくっきりと見ることができるようになります。

健やかな目の発達のために

テレビやスマホ等のデジタル機器の使用は、眼精疲労やドライアイ、近視の発症につながる可能性があります。また、子どもの視力の発達にはタイムリミットがあるので、目の異常を早期に発見し治療することが重要です。「片目を隠すと嫌がる」「過度に近寄って物を見る」など、お子さんと接する中で違和感を覚える場合は、早めに眼科で受診しましょう。

3歳児健診では、家庭で行う視力検査のほか、弱視の要因となる斜視や近視・遠視等を調べるスクリーニング検査を行っています。弱視を早期発見するために健診を受け、子どもの目の健康を守っていきましょう。

【問】 子育て包括支援課Tel48-6881

こがキラPhotoクラブ 私のオススメ!!

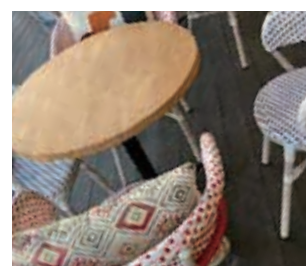
店内にはきらびやかなシャンデリアと、ショーケースに並んだ色とりどりのデザートの数々。中でもお芋を使った店舗限定のスイーツは絶品です。テーブル席のほかコンセント付きの1人用の席もあり、空が見える開放的な空間になっています。自家栽培のフルーツはお土産にもピッタリ。コーヒーやスムージーはテイクアウトできるので旅のお供にもオススメです！



こがキラメンバー あみ

【店舗概要】
営業時間：9時～18時
住所：高野540-1
電話：33-6121

キラキラスイーツショップ 8代葵フルーツパーラー



「男女の詩」の入賞作品が決定しました

男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについて日々感じていること、将来実現させたいことなどをテーマに募集した「男女の詩」に市内外から665作品の応募がありました。1次選考で選出された作品から、10月～11月に行ったイベントの会場やWeb投票により、入賞作品が決定しました。

【問】 人権推進課Tel92-3111



ワーク・ライフ・バランスとは

働く全ての人が「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった仕事以外の生活との調和を取り、その両方を充実させる働き方・生き方のことです

一般の部 投票総数 737票

○最優秀賞 242票
しんのすけさん

助け合い
補い合って
男女となる

○優秀賞
近藤己順さん
もふもふさん

○入賞
具蔵さん
かわせみ～ずさん

小・中学生の部 投票総数 734票

○最優秀賞 214票
藤井葵翔さん
(小学2年生)

目の前にいるのは、
だれかの大切な人
やさしいことばで はなしてね。

○優秀賞
塚原美来さん(小学6年生)
鈴木菜々子さん(中学1年生)

○入賞
桃宮悠歌さん(中学1年生)
佐山実弥子さん(中学2年生)

県広報コンクールで「広報古河」が入賞

令和6年茨城県広報コンクールにおいて、広報古河11月号が広報写真部門(一枚)で特選を受賞しました。今後も読みやすく親しみをもてる広報紙作成に努めるとともに、市の魅力を発信していきます。

【問】 シティプロモーション課Tel92-3111

過去5年間の特選受賞歴

- 令和元年
広報紙部門…広報古河2月号(食育特集)
- 令和3年
広報写真部門(一枚)…広報古河9月号(表紙)
- 令和5年
映像部門…ブランドムービー「こがくらす」



【特選】 広報写真部門(一枚)
令和6年広報古河11月号